

# 地域医療介護総合確保基金事業 について

平成27年3月23日

福岡県保健医療介護部薬務課  
課長技術補佐 上田 修

## 福岡県の概要

人口:約509万人(全国9番目)

面積:約5千km<sup>2</sup>(全国29番目)

65歳以上の高齢者数  
:約123万人(総人口中24.2%)  
(全国平均25.1%)  
(全国39番目の高さ)

(数値は、平成25年時点)



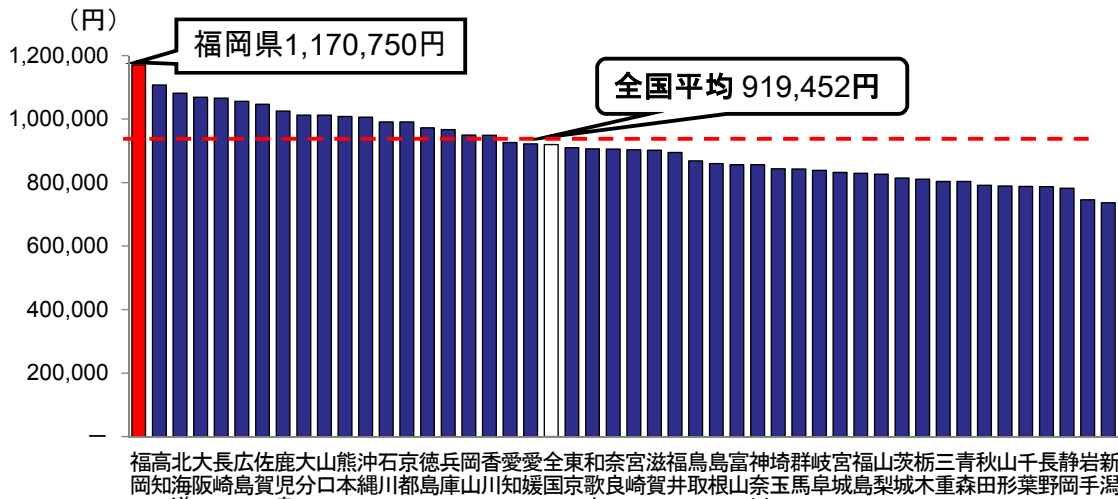
ふくおか官兵衛くん

# 福岡県の特徴

1人当たり後期高齢者医療費：1,170,750円(全国1番目)  
(全国平均比約1.27倍)

在宅死亡率：12.0%(全国平均17.9%)  
※平成23年

1人当たり後期高齢者医療費の全国比較(平成24年度)



福岡県の高齢者(老人)医療費は、平成14年度から11年連続で全国1位

## 医療介護総合確保促進法に基づく 平成26年度福岡県計画概要

### 計画の基本的事項

団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え、医療・介護サービス提供体制の改革を推進するための新たな財政支援制度(地域医療介護総合確保基金、以下「基金」という。)が創設された

- ・本県でも、高齢化率は今後も上昇し、慢性疾患の増加に伴い、療養や介護が長期化する見込み
- ・このような中、効率的で質の高い医療提供体制を構築していくためには、病床の機能分化・連携を一層促進するとともに、在宅医療の提供体制の充実を図っていく必要がある
- ・また、地域や診療科による医師の偏在や看護職員の離職率が高い状況を踏まえ、医療従事者の確保・養成についても、これまで以上に取り組む必要がある

# 医療介護総合確保促進法に基づく平成26年度福岡県計画

	課題	目標
病床の機能分化・連携 (11.3億円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より効率的で質の高い医療提供体制の構築</li> <li>・医療・介護サービスの関係者間での適切な情報共有</li> <li>・療養患者のQOL向上のため医科歯科連携の一層の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療情報ネットワーク活用地域の拡大(2地域→県下全域)</li> <li>・歯科職を配置するがん診療連携拠点病院の拡大(13→18病院)</li> </ul>
在宅医療の推進 (9.8億円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村を主体とした在宅医療・介護の連携強化</li> <li>・郡市区医師会の在宅医療連携機能の高度化</li> <li>・在宅訪問歯科診療の体制整備</li> <li>①医療材料、衛生材料等の供給体制整備</li> <li>②在宅における薬物療法の適正化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問診療を受ける患者数 18,721人/月→平成29年度までに県全体で20%の増加を図り、平成26年度においても着実に推進</li> </ul>
医療従事者の確保養成 (16.2億円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や診療科による医師偏在の一層の解消及び女性医師の確保</li> <li>・看護師確保対策の推進(質の充実、離職防止、復職支援の強化)</li> <li>・歯科衛生士、③薬剤師に係る確保対策の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師、看護師等の確保・養成に努め、地域における医療提供体制の充実を図る</li> </ul>

# 医療介護総合確保促進法に基づく平成26年度福岡県計画

	課題	主な事業
病床の機能分化・連携 (11.3億円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より効率的で質の高い医療提供体制の構築</li> <li>・医療・介護サービスの関係者間での適切な情報共有</li> <li>・療養患者のQOL向上のため医科歯科連携の一層の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療情報ネットワーク活用拡大事業 病・病連携、病・診連携、他職種連携を促進するため、県医師会のとびうめネットを機能強化し、全県下での活用拡大を図る</li> <li>・がん患者等医科歯科連携整備事業 がん診療連携拠点病院に歯科職の配置、病院医科歯科とかかりつけ歯科医等の情報共有システム整備</li> </ul>
在宅医療の推進 (9.8億円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村を主体とした在宅医療・介護の連携強化</li> <li>・郡市区医師会の在宅医療連携機能の高度化</li> <li>・在宅訪問歯科診療の体制整備</li> <li>①医療材料、衛生材料等の供給体制整備</li> <li>②在宅における薬物療法の適正化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療連携拠点整備事業(郡市区医師会拠点整備)</li> <li>・小児等在宅医療推進事業</li> <li>・訪問歯科診療推進整備事業</li> <li>・在宅における医療材料等の供給体制整備事業</li> <li>・在宅医療研修、薬局在宅参加促進事業</li> </ul>
医療従事者の確保養成 (16.2億円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や診療科による医師偏在の一層の解消及び女性医師の確保</li> <li>・看護師確保対策の推進(質の充実、離職防止、復職支援の強化)</li> <li>・歯科衛生士、③薬剤師に係る確保対策の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師確保支援事業</li> <li>・看護師等養成所運営費補助事業</li> <li>・ナースセンターサテライト事業</li> <li>・薬剤師確保定着事業、女性薬剤師復職支援事業</li> </ul>

事業総額 37.3億円(うち薬務関係事業費4,820万円)

## 【課題Ⅰ】 医療材料、衛生材料等の供給体制整備

- ① 在宅患者への無菌製剤等の供給体制が不十分
- ② 医療材料、衛生材料、医療用麻薬等は、24時間365日在宅医療で供給が求められるものの、現在十分な供給体制が確保されていない。材料関係はかさばることや、医療用麻薬は規格が多数あることから、1薬局で全て取りそろえることは困難

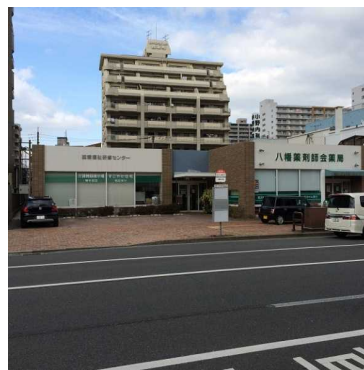


### 福岡県のこれまでの取り組み

年度	事業名	内容
平成24年度	在宅医療提供拠点薬局整備事業	地区薬剤師会が開設する薬局3か所に、クリーンベンチ、安全キャビネットを備えた無菌調剤室を整備

## 【基金事業】 在宅における医療材料等の供給体制整備事業

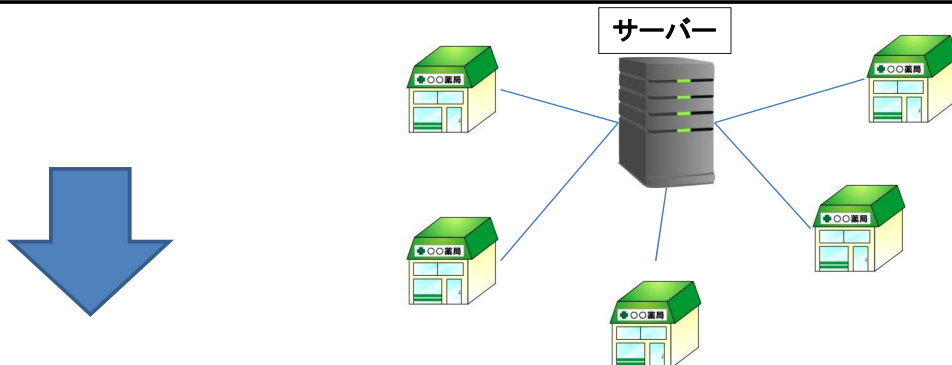
### ①在宅患者への無菌製剤等の供給体制が不十分



事業名	事業費	内容
無菌調剤室整備事業	1,500万円	(公社)八幡薬剤師会が開設する薬局に、クリーンベンチ、安全キャビネットを備えた無菌調剤室を整備し、在宅への無菌製剤、抗がん剤の供給体制を図る

## 【基金事業】在宅における医療材料等の供給体制整備事業

②医療材料、衛生材料、医療用麻薬等24時間365日在宅医療で供給が求められるものの、現在十分な供給体制が確保されていない。材料関係はかさばることや、医療用麻薬は規格が多数あることから、1薬局で全て取りそろえることは困難



事業名	事業費	内容
在宅医療における医療材料等の供給体制整備事業	2,000万円	福岡県薬剤師会の薬局間在庫情報共有システムを改修し、24時間365日在宅医療で必要とされる医療材料等の供給体制の確保を図る

## 【課題Ⅱ】在宅における薬物療法の適正化

- ① 在宅で行われる緩和ケアやがん患者の服薬などは、高度な知識が要求されるが、対応できる薬局が少ない
- ② 患者の在宅移行時に、医療機関との連携不足により、患者情報の共有がうまくできず、継続的な薬物治療ができないことが散見される



### 福岡県のこれまでの取り組み

年度	事業名	内容
平成25年度	薬物療法提供体制強化事業	無菌調剤室を活用するため、無菌調剤研修や抗がん剤に関する研修、緩和ケア研修等の在宅医療に関する研修を実施
平成26年度	薬局薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業	無菌調剤研修や抗がん剤に関する研修等を実施

## 【基金事業】 在宅医療研修事業

①在宅で行われる緩和ケアやがん患者の服薬などは高度な知識が要求されるが、対応できる薬局が少ない



事業名	事業費	内容
在宅医療研修事業	40万円	在宅医療で必要とされる、患者の副作用の発現や身体の評価を行うフィジカルアセスメント研修を行う

## 【基金事業】 薬局在宅参加促進事業

②患者の在宅移行時に、医療機関との連携不足により患者情報の共有がうまくできず、継続的な薬物治療ができないことが散見される



事業名	事業費	内容
薬局薬剤師の在宅参加促進事業	160万円	県下4地域で、地域の基幹病院と地域薬剤師会が退院時の継続した薬物療法の提供体制を確保するため、薬局が在宅医療に参加できるよう協議を行う

## 【課題Ⅲ】 薬剤師に係る確保対策の推進

- ①
  - ・福岡県の薬剤師の有効求人倍率は8.7倍と高く、慢性的に薬剤師が不足
  - ・斡旋業者の紹介料は、年収の30%程の費用がかかり、小規模薬局では人材の確保が困難
- ② 出産等で休職中の薬剤師の復職支援プログラムがないことから、復職を断念しているケースがあり、薬剤師確保上の課題となっている

## 【基金事業】 薬剤師確保定着事業

- ①・福岡県の薬剤師の有効求人倍率は8.7倍と高く慢性的に薬剤師が不足
  - ・斡旋業者の紹介料は、年収の30%程の費用がかかり、小規模薬局では人材の確保が困難



事業名	事業費	内容
薬剤師確保定着事業	1,000万円	福岡県薬剤師会が、誰でも無料で利用できる求人求職のホームページを作成し、薬局が薬剤師を確保しやすい環境の整備を図る

## 【基金事業】 女性薬剤師復職支援事業

②出産等で休職中の薬剤師の復職支援プログラムがないことから、復職を断念しているケースがあり、薬剤師確保上の課題となっている。



**働くあなたを待っています！**

～休職中や職場復帰計画中の女性薬剤師のための無料セミナー～  
薬剤師の資格を活用しませんか？復職や再就職に向けた不安を解消するための、福岡県薬剤師会主催の無料セミナーです。お気軽にご参加ください。薬局業務未経験の方の参加もお待ちしております。



事業名	事業費	内容
女性薬剤師 復職支援事業	120万円	復職を希望する女性薬剤師がスムーズに復職できるよう最新の薬局業務に関する研修、薬局での実地研修を実施し、薬剤師の確保を図る